

全然先方ノ「イニシアティヴ」ニ依ル様致シ度シ

二二六 八月六日(着) 在サン・フランシスコ大山總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

日本国内ニ於ケル排米運動ニ関シ在米邦人団体ヨリ日本国内ニ懲済セル事實ナキ旨報告ノ件

日本国内ニ於ケル排米運動ニ関シ在米邦人団体ヨリ日本国内ニ懲済セル事實ナキ旨報告ノ件

貴電第九三号及第九四号ニ関シ  
本件ハ吾人ニトリ甚ダ遺憾ナル出来事ナルモ右ハ当国社会組織ノ欠陥ニ依リ屢々起ル普通ノ警察事故ニ過ギザルモノシテ在留民ノ主ナルモノハ皆好ク之ヲ諒解シ居ル次第ナルモ当地日本人新聞通信員ガ最初本件ヲ聞込ムト同時ニ報道ノ迅速ヲ競ヒ何等真相ヲ調査セズ且世間ノ耳目ヲ引ク為誇大ニ報道シタルモノニシテ御賢察ノ通り当地日本人団体ガ日本ノ有志者等ト策応シテ何等運動ヲ計画セルガ如キコトハ毛頭ナキコトナリ依テ御来電ノ趣旨ヲ牛島ニ極秘ニテ内報シ全然日本人会ノ「イニシエチーブ」ニテ然ルベク電報セシムルコトト為シタル処恰モ過日牛島ヨリ時局救済ノ度シ

二期待ス

目的ニテ渋沢子爵ニ渡米ヲ懲済シタル處今回渡米不可能ノ旨回電アリタルニ付牛島ヨリ右ニ対シ更ニ答礼スル形式ニテ八月五日同子爵宛左ノ通り電報セリ

貴電諒承致方ナキヲ憾ム羅府及「ハップランド」ノ暴行ハ当国社会組織ノ欠陥ニ乘ズル普通ノ警察事故ニシテ所謂排日問題ト關係アルモノニアラザルニ付深ク顧慮スルノ要ナシ然レ共日本ニ於テ排米行為此上高マラバ其影響ハ真ニ重大ニシテ憂慮ニ堪ヘズ吾人ハ閣下及先輩ノ斡旋

## 事項二 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件

二二七 六月二十一日 在サン・フランシスコ大山總領事ヨリ  
幣原外務大臣ヨリ  
在ロス・アンゼルス若杉領事宛(電報)

サン・ペドロニ於ケル日本人遭棄死体及ビロ  
ス・アンゼルス郊外在住日本人宅ヘノ暴徒來襲事件ニ付キ真相取調方訓令ノ件

合第一八八号 至急

二十日桑港發東京朝日特電ニ拠レハ〔二十日午前「サン・ペドロ」付近砲台ノ辺ニ於テ二名ノ日本人力打殺サレ居ルヲ発見セラレタル旨〕「ロス・アンゼルス」郊外「ベルヴデア」区居住邦人方ニ米人暴徒來襲シ私刑的暴行ヲ為サントシタル旨伝エラレ居ル處至急真相御取調ノ上回電アリ度シ

二二八 六月二十二日(着) 在サン・フランシスコ大山總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

日本人殺害及ビ暴徒來襲事件ニ關スル新聞情  
二 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 二二七 二二八

一一 カリフオルニアニ於ケル日本人被害事件 二二九 一三〇

ヒ〔〕要塞地帶取締法違反ノ為銃殺セラレタルモノナラン  
ト云ヒ真偽不明ナリ

一一、六月十九日夜半羅府郊外 Belvedere 居住邦人自動車販

売人川本繁吉方二十名ノ婦人六名ノ男子トヨリ成ル暴徒

襲来シ同人ニ対シ私刑的暴行ヲ加ヘントシタルガ家族ノ

急報ニ依リ警官ノ來援ニ依リ解散シタルガ同人居宅前ニ

Keep Japs out of Belvedere ナル建札ヲ為シタル由尤

モ同地ハ從来排日運動ノアリタル處ニシテ（客年三月七

日羅府領事発大臣宛第十六号参照）公開拳闘行ハレタル

コトアリ

在米大使ヘ転電セリ

一一九 六月二十一日（着） 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨ  
幣原外務大臣宛（電報）

サン・ペドロ日本人殺害事件ニ関シ回電ノ件

第一五三号

貴電合第一八八号ニ関シ

「サム・ピドロ」邦人殺害事件ハ被害者身許及事件ノ真相

未ダ判明セザルモ多分本邦人博徒間ノ兇行ナラムト観測セ

ラレ居レリ目下警察ニテ取調中ニ付判明次第電報スベシ

一三〇 六月二十二日（着） 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨ  
幣原外務大臣宛（電報）

米人暴徒來襲事件ニ関シ回電ノ件

第一五四号

貴電合第一八八号ニ関シ

十九日午後八時頃當市ト接続スル「バーレーベニア」町居住

邦人川本茂吉（自動車販売業）方へ約二十名ノ米人男女

（下等ナル労働者ナルヘシト）襲来シ日本ニ於ケル米人排斥

ノ非ヲ鳴ラシ川本ニ立退ヲ強要シタルニ同人及同居人内藤

某ヲ戸外ニ引出シ袋叩キニシタル上川本ノ妻ヲ殴打シ急

報ニ接シ駆付ケタル家主米人モ群集ニ追還サレ川本ガ金火

箸ノ如キモノヲ持テ抵抗セントセシニ対シ「ピストル」ヲ差

向ケ凱歌ヲ揚ケテ引揚ケタリ依テ川本ハ檢事局ニ訴出テタ

リ右被害者ハ差シタル負傷ナシ元來同地ハ多く米人労働者

階級ノ住居スル区域ニテ以前ヨリ排日ノ氣分濃厚ニシテ昨

年二月以来排日ノ立札ヲ建テ居ル位ナルカ（昨年三月二日

往電第一六号参照）今年五月中ニモ近隣ノ米人ハ川本ノ立

退方ヲ其ノ家主ニ要求セルコトアリ本件ハ目下郡「セリ

フ」ノ手ニ取調中ナルカ斯ノ如キ事件発生スルハ殊ニ時局

柄面白カラサルニ付本官本日「セリフ」ヲ訪問在留日本人  
保護方ニ付懇談的申入ヲ為シタリ

在米大使ニ転電シ沿岸各領事ニ郵送セリ

第一五五号

往電第一五三号ニ関シ

被害者ハ五十嵐及吉岡ニ一名ニシテ孰レモ支那賭博場ニ

出入スル博徒ナルコト判明シタルカ加害者及兇行ノ原因ニ

付テハ未ダ判明セサルモ或ハ支那人又ハ本邦人博徒ニ殺害

サレタルモノナラントノ説アル處何レニシテモ本件カ日米

間ノ時局トハ何等關係ナキハ疑フ容レス又二十日「パサデ

ナ」ニテ本邦人一名ノ死体発見サレタルモ事業失敗ノ為自

殺シタルモノト認メラル是又時局トハ關係ナキモ新聞紙等

ニ誇大ノ報道伝ハルノ虞アルヲ以テ為念

在米大使ニ転電シ沿岸領事ニ郵送

一一一 六月二十五日（着） 在英吉利大使ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

一一二 六月二十九日（着） 在米大使ニ転電シ沿岸領事ニ郵送

一一三 六月二十七日（着） 在サン・フランシスコ大山總領  
事ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

第一九二号

排日事件ニ対スル新聞諸報道ニ関シ報告ノ件

一一四 六月二十三日（着）

一一五 六月二十一日（着）

一一六 六月二十二日（着）

一一七 六月二十三日（着）

新聞報ニ依レハ加州労働連合、在郷軍人会、同業組合及ヒ Native Son ノ四団体ハ六月二十三日「加州ニ現住セル日本人ニ対シ条約及ヒ法律ノ規定ニ従ヒ其生命財産並ニ職業ノ保護ヲ確保セサルヘカラス」トノ声明書ヲ発シタリトノコトナルカ

〔一〕 「サクランメント・ビー」ハ右声明ヲシタル加州（脱）掲ケ Belvedere 事件ヲ引用シ斯ノ如キ行為ハ米國ノ伝統的神精神ニ悖ル暴行ニシテ日米関係ノ緊張セル際好戦的日本新聞ニ好餌ヲ与ヘタルモノナリ加州ハ既ニ排日論争ニ於テ勝利者タル以上日本人ニ対シテハ寛大ナラサルヘカラス帝国ホテル事件ヲ冷笑シタル加州人ハ其ノ愚挙ヲ学フヘカラスト論セリ

〔二〕 Bulletin ハ六月二十四日「羅府殺人事件ハ人種的反感ノ結果タルハ疑ヲ容レス此處ヲ以テ日本軍閥及ヒ黃色紙カ本件ヲ戦争宣伝ノ資料トシテ輿論ヲ激成セシメ居レル此際特ニ日本識者カ隱忍自重民衆ノ指導ヲ過タサランコトヲ祈ル本件責任ノ帰趣ハ米國ノ名譽ヲ顧念スル吾人ニ於テ実ニ痛切ナルモノアリ」ト評論セリ

〔三〕 当地諸新聞ハ六月二十四日連合通信横浜來電トシテ同

日入港シタル President Madison 号ノ米人船客ハ通関ノ際苛酷ナル取扱ヒヲ受ケ靴ヲ脱カサレタル儘長時間濡レタル床ニ立タセラレタルカ米人側ノ訴ヘニ依リ駆付タル高級官吏ノ陳謝ニ依リテ落着シタル趣ヲ伝ヘ居レリ

在米大使ヘ電報セリ

一一一四 六月二十七日（着） 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ 币原外務大臣宛（電報）

暴徒來襲事件ニ対スル善後策ニ関シ請訓ノ件

第一五七号

往電第一五四号ニ閲シ

「シェリフ」ハ成ルヘク本件ヲ示談ニテ済マサシメン意向ナルモノノ如ク一方同地方居住暴行者側ニ対シ川本立退キ強要ヲ抑制シ他方川本ニ対シテハ日本ニ於テモ対米人暴行ノ報アルヲ口実トシ本件不起訴ニテ我慢セムコトヲ求メ両者間ニ数回調停ヲ試ミタル処川本ハ同地居住ノ都合モアリ「シェリフ」等ノ調停ヲ諒トシ群衆ノ殴打ニ付テハ我慢スヘキモ「ピストル」ヲ以テ脅迫セル暴行者丈ヶハ处罚方ヲ要求シタルヲ以テ示談整ハサル趣ナルガ元來同地方「シェリフ」中ニハ排日協会員モアリ從来ノ処分及今後ノ取締

上信頗疑ハシキ点無キニアラサル處同地方ハ外国人種ノ下等ナル労働者多キ事情モアリ又時節柄成ルヘク事ヲ荒立テルハ面白カラズト存ジ殊ニ之ヲ純然タル法律事件トスル時

ハ加害者多数ニテ証拠調べノ点ニ於テ本邦人側ニ不利益ナル点モ考慮ヲ要シ去リトテ此儘泣寢入りシテ了ハル時ハ今後一般在留同胞ニ対スル米国人等ノ態度ニモ影響ヲ有シ旁「デリケート」ナル問題ニ付キ差当リ本邦ハ当地司法警察上ノ責任者タル郡檢事ニ面会シ本件ノ成行ニ付キ調査報告ヲ求メ同時ニ本邦在留者身體財産ノ保護上考慮ヲ促シ置キタリ右処分如何ニ依リテハ飽迄本件ヲ起訴セシムルカ又ハ當該官憲ヲシテ本官ニ対シ地方的ニ今後ノ取締上ノ声明ヲ為サシメ本件ヲ結了セシメタキ考ナルガ政府ニ於テハ若シ不当処分ノ場合ニハ更ニ本官ヲシテ加州知事ニ対シ抗議セシムルカ又ハ本省ヨリ米国政府へ抗議セラル御意向ナリヤ本官心得迄ニ何分ノ儀回訓ヲ請フ

在米大使 桑港ヘ転電シ「ポートランド」「シャトル」

ヘ暗送セリ

一一一五 七月一日（着） 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ 币原外務大臣宛（電報）

一一一五 一二 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 二三五

ノ本邦人等ハ事實上転居地ヲ見出スコト因難ナルノミナラ  
ス時局柄一般在留本邦人ノ住居ニ対シ不安ヲ感セシムルノ  
憂アルニ付テハ何等力救済ノ方法ニ付尽力ヲ煩シ度旨申入  
タル處市長ハ同区域多數ノ住民ノ請願アリタル以上市会カ  
ノ原因ハ或ハ同地在留日本人ニ対スル不快ノ念ニ基クヤモ  
計ラレサルモ市会立法ノ動機ニ付テハ何人ト雖詮索ノ權能  
ナク當市ノ市政上市長ハ之ヲ奈何トモ致方ナク唯之力救済  
方法ハ土地收用法ニ基キ利害關係人ヨリ市会ニ対シ抗議書  
ヲ提出シ再審ヲ求ムルノ外途ナカルヘシト懇切ニ弁明セリ  
本件ハ同地方米国人等カ本邦人ヲ立退カシムル為偶々同宅  
地カ日本人自身ノ所有ニ属スルヨリ表面上法規上ノ手続ニ  
基キ市会ヲ動カシテ前頭ノ手段ニ出タルモノト察セラル尚  
曩ニ「ハリウッド」ノ他ノ区域ニ於テ本邦人ノ一団カ借地  
居住スル伊太利人ノ所有地ヲハ買上ケ公園ト為スコトニ決  
定シ目下地主ト地価ノ協定ニ付行惱ミ居ルモ亦同一手段ニ  
依ル排日運動ニ外ナラスト思考セラル

斯ノ如ク頻々タル巧妙ナル排日手段ニ屈服スルトキハ今後  
一般在留本邦人ノ居住ニ付鮮カラス不安ヲ与フル虞アルニ

付目下日本人会ニ於テモ之カ善後策攻究中ナルカ本件カ表  
面上市会ノ合法ノ行為ナル以上事實上ハ本邦人住居ニ対ス  
ル差別的待遇ノ目的ニ出タルモノトスルモ之ニ対シ抗議ヲ  
試ミルノ根拠薄弱ナル様存セラルノミナラス又抗議ヲ試  
ミルモ其実益ヲ得ル望少ク又利害關係人ヨリ法律上ノ抗議  
ヲ提出スルモ一旦決定シタル市会ノ意志ヲ翻ヘスノ見込モ  
乏シキ様存セラル處本官ハ本件ニ対シ右市会立法ノ動  
機及ヒ目的ニ立入り條約上ノ解釈ニ基キ市当局又ハ州知事  
ニ対シ正式抗議ヲ為スヘキヤ(二)又ハ本件ヲ成行ニ任セ不問  
ニ付シ差支ナキヤ不取敢報告旁何分ノ儀至急御回訓ヲ請フ  
在米大使及在桑港總領事ニ転電シ在米各領事ニ暗送セリ  
二三六 七月五日(着) 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ  
暴徒來襲事件ニ対シ郡檢事等ヘノ保護・取締  
リ申入レノ結果報告ノ件

## 第一六五号

貴電第三七号後段ニ関シ

川本事件ニ付弁護事務ヲ業トスル羅府日本人會長カ郡「シ  
エリフ」代理ト会見ノ際原告敗訴スヘシト語レルハ事實ニ

## リ申入レノ結果報告ノ件

シテ右会長自身モ亦本件ヲ起訴スル場合陪審官ノ証拠調ニ  
当リ多數米人ヲ相手トシテ少數原告側ニ勝算ナキ見込ナル  
由ナルカ本件ニ付テハ前電ノ通り本官ヨリ郡檢事ニ申入レ  
タル結果排日會長タル「シェリフ」モ若干取締ニ尽力シタ  
ルモノト見工數年來同地方ニ立テラレタル排日文句ノ建札  
ヲ撤去セシメ又本件關係暴行者及ヒ同地住民ニ対シ今後一  
切日本人立退ヲ強要スルカ如キ拳ニ出サル様誓約セシメ右  
暴行者中ニ加ハレル同地副「シェリフ」ヲ譴責シ尚「ピス  
トル」ヲ以テ脅迫セルモノニ対シテハ被害人ノ告訴アリ次  
第起訴スルヲ辭セスストノコトナリ右日會長ト「シェリフ」  
代理トノ交渉ニ依レハ既ニ當局ニ於テ前記ノ如ク相当ノ処  
分ヲ為シタル以上更ニ法律上ノ起訴手続ヲ為スモ勝訴ノ見  
込乏シキノミナラス反テ當該官民ノ反感ヲ招キ事實上今後  
取締上ノ責任ヲモ輕減セシムルカ如キ結果ニ陥ルノ虞モア  
リ尚同地ニハ川本以外ノ在留邦人鮮カラサル事情ニモ鑑ミ  
被害人ヨリ進ンテ起訴手続ヲトラサル限り本件ハ此辺ニテ  
切上ケル方得策トノ意見ナリト云フ右ニ付キ本官ハ今明日  
中検事ト会見ノ筈ニ付反対ノ御訓令ナキ限り可成先方ヲシ  
テ前記証言ノ確認ト今後ノ保護取締上ノ言質トヲ以テ本件

## 第三八号

貴電第一六一號ニ關シ

本件处置方ニ付テハ法律問題ト事實問題トヲ同時ニ考量ス  
ルヲ要スヘク先ツ實際上ノ問題トシテ万一「ハリウッド」  
ニ於ケル日本人住居ノ状態カ其近隣ノ風致ヲ害シ一般米人  
ニ不快ノ念ヲ与ヘ又ハ其他何等カ社會上面白カラサル事情  
アリタルカ如キ場合ニ於テハ仮令市会ノ処置ニシテ日本人  
排斥ノ動機アリトスルモ之ニ対シテ抗議ヲ申入ルニ先チ  
十分利害得失ヲ考慮スルノ要アルヘシト思考ス就テハ貴官  
ハ篤ト右実情ヲ考究シタル上貴官ノ裁量ヲ以テ適宜關係者  
ヲ指導セラレ度尚貴官ニ於テ必要アリト認メラレタル場合  
ハ重ネテ稟請アリ度シ又申ス迄モナキコト乍ラ孰レノ場合  
ニ於テモ關係日本人ノ蒙ルヘキ損害ニ付テハ出来得ル限り

二 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 二三八 二三九

ノ補償ヲ得セシムル様貴官ニ於テ十分尽力セラレ度シ

在米大使在米各領事へ転電アレ

二三八 七月六日(着) 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ロス・アンゼルス郊外ニ於ケル日本人ヘノ投

石及ビ発砲事件ニ関シ報告ノ件

第一六四号

貴電第三七号ニ関シ

六月二十七日午後十一時過キ当市郊外ヨリ市内「マーケット」ニ出荷ノ為野菜運搬中ノ本邦農業者七、八名力郊外ニ

近キ町端ニ於テ自動車ニ乗レル不良少年四名(悪シキ子供ニシテ学童ニアラス)ノ為投石セラレ其内一名ハ負傷シ又他ノ一名ハ木蔭ヨリ「ピストル」ヲ發射セラレタルモ幸ニ無事ナリシカ元來同地付近ニ於テハ昨年モ同様ノ惡童現ハレ本邦農業者ヲ悩マシタルコトアル故右「マークエット」關係ノ日米人等ハ其筋ヘ之カ取締方申請中ナリ右ハ何等日米間ノ時局ニ關係ナシ近来事毎ニ日米間ノ時局ニ基因スルカ如ク報道セラルルノ傾アルハ遺憾ナルカ元來当地方ニハ三万余ノ本邦在留者アルコト故折々本邦人間又ハ日米人間

三二二

ニ有勝チノ係争事故發生スルヲ免レサル次第ニシテ一々之

カ為神經ヲ刺激セラルルニ及ハス当地一般米人ハ何等時局

ニ付昂奮シ居ル次第ニアラサル旨本邦新聞紙等ヘ周知セシ

メラレタシ

大使ヘ転電シ在米領事ニ郵送セリ

二三九 七月七日 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ

暴徒來襲事件ニ関シカリフォルニア州知事ニ

対シ注意喚起ノ書簡送付方訓令ノ件

第三九号

貴電第一五七号及一六五号ニ関シ

本件ニ對スル米國地方官憲ノ取締処分ニ十分信頼スルノ態度ヲ表示スルト共ニ其善後策ニ付テハ成ルヘク穩便ニ措置スルコト得策ナルヘキハ勿論ナリ從テ貴地ニ於テ被害者ヨリ起訴セサル限り貴電第一六五号ノ趣旨ニヨリ本件ヲ處理セラルルコト適當ト思ハルモ加州知事ニ對シテハ事件發生ニ付キ一應其注意ヲ喚起シ在留邦人ノ生命財産保護ノ為同知事ニ於テ其ノ權限内ニ屬スル一切ノ手段ヲ執ラレムコトヲ切望スル旨ヲ書面ヲ以テ申入レ置カレ度シ

三二三

二四〇 七月二十一日(着) 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

カリフォルニア州知事ノ回答報告ノ件

第一八〇号

在米大使ニ転電シ沿岸各領事ニ暗郵アレ

加州檢事總長「ウェップ」氏ヨリ本月十八日付ヲ以テ左ノ通回答アリタル旨加州知事ヨリ二十一日付ヲ以テ本官宛通

知アリタリ

「ベルヘデヤ」ニ於ケル河本夫妻ニ對スル暴行及不法行為ニ關スル若杉領事ヨリ貴官宛ノ書翰拝承、同領事ハ本件ニ付記述シタル後加州ニ於ケル日本國民ノ生命財産ニ對シ不

断ノ保護及保障ヲ與フル為貴官權限内一切ノ処置ヲ執ラレントコトヲ希望スル旨多大ノ謙遜ト敬意トヲ以テ述ヘタルハ正當ナリ本件ニ關シテハ本官ノ既ニ考慮ヲ加ヘタル処ニシテ本件發生後間モナク「ロスアンゼルス」郡檢事トモ協議ノ上事實ヲ確カメタル上必要ナル処置ヲ行フ為最モ嚴重ナル取調ヲ命シ同郡檢事ヨリモ同様処置スヘキ旨ノ保障ヲ得タルヲ以テ本官ハ同檢事力周到熱誠ナル取調ヲ遂行セルヲ承知ス本官ハ又本件カ新移民法成立後間モナク且其ノ効力發生數日前ニ起リタルヲ以テ特ニ憂慮シタルカ本官ノ調查ハ本件カ何等移民法問題ト關係ナキヲ示セルハ満足スル所ナリ本官ハ加州全体ノ治安保護官憲カ日本國民ノ生命財産ニ對シ十分ノ保護ヲ加フル様最モ周到ナル努力ト熱誠ナ

ルウエップ檢事總長ノ回答ニ關シ報告ノ件

カリフォルニア州知事宛若杉領事書簡ニ対ス

在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ

幣原外務大臣宛(電報)

第一八五号

往電第一八〇号ニ關シ

二 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 二四〇 二四

大使へ転電シ全米領事へ郵報セリ

一四二 七月二十六日(着) 在サン・フランシスコ大山總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ホップ・ランドニ於ケル日本人迫害事件ニ関シ報告ノ件

第二一八号

加州「メンデシノ」郡 Hop Land 町ニ於ケル Los Angeles Packing 会社支店ノ果物箱詰ヲ請負ヒ七月二十一日八名ノ日本人ヲ引連レ同地ニ至リ予テ借受ケタ和田熊楠ナル者ノ所有家屋ニ住込メル山口県人福森清助ナル者アリ又此ノ場所ヨリ約一哩ヲ距テタル所ニ二十五名ノ日本人ヲ使用シ同地 Earl Fruits 会社支店ト前同様果物ノ箱詰ヲ請ケ居ル和田熊楠ナル者在留セルカ七月二十二日夜十時頃約三十名ノ米人青年(内女二名) テンデニライフル銃又ハ拳銃ヲ携ヘ前記福森以下八名ノ住込ミ居ル小屋ヲ目標トシ弾丸約百発ヲ乱射シ其内五発ハ小屋ニ命中セルモ負傷者ナカリキ引続キ彼等ハ和田熊楠ノ住家ニ至リ前同様約三十発ヲ乱射シタルモ家屋ニハ命中セサリキ折柄同家ニ居合セタ白人二名ハ直ニ出テテ彼等暴徒ヲ追払ヒタル由依テ前記両会

社支店ハ早速同地警察署ニ訴ヘ同署ハ目下犯人ヲ厳探中ナルモ未タ逮捕ニ至ラサルカ福森以下八名(不明)ヲ恐レ翌二十三日「サクラメント」市ニ引揚ケタリ又前記和田熊楠方ノ日本人ハ警察及付近米人ノ親切ナル保護ヲ受ケ其業ニ安堵シ居レリ兎ニ角本件ハ羅市川本襲撃事件ト同一性質ト認メラルニ付直ニ当州知事、在加州合衆国司法部及「メンデシノ」郡警察署等ニ対シ速ニ犯人ノ逮捕被害者ノ保護及将来再ヒ斯ル不祥事件ヲ繰返ササルヘキ様請求スルト同時ニ事件ノ進行ヲ嚴重ニ監視中

大使へ電報シ在米領事へ郵報セリ

一四三 七月二十六日 在米國吉田臨時代理大使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ホップ・ランド日本人迫害事件ニ關シ國務省

極東部長ト面談ノ件

公第七二〇号

(八月二十八日接受)

大正十三年七月二十六日

在米

臨時代理大使 吉田 伊三郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

大正十三年七月二十六日付本官発大山總領事宛桑公第七号往信写送付

(写)

桑公第七号

大正十三年七月二十六日

在米

臨時代理大使 吉田 伊三郎

在桑港

総領事 大山 卵次郎殿

「ホップ・ランド」地方ニ於テ米国人本邦人ニ暴行ノ件

本件ニ關スル貴電第一〇五号本日接到依テ直ニ国務省極東

部長ヲ往訪シ自分ハ帝国政府ノ訓令ニ依ル次第ニ非ザルモ貴官ヨリ報告ニ接シタルヲ以テ事實ヲ不敢米国政府ニ通報スル次第ナル旨ヲ述べタル上貴電ノ内容ヲ告ケタルニ同部長ハ地方官憲ニ於テ直ニ处置ヲ採リタルカラ尋ね候ニ対シ本官ハ貴官ヨリ當該官憲ニ請求セシ旨報告ニ接シタルモノ又官憲ノ行動ニ付テハ未ダ何等通報ナキ趣語リ置候此段通報申進候也

一二 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 一四四

本信写送付先 外務大臣

一四四 七月二十七日(着) 在サン・フランシスコ大山總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ホップ・ランド日本人迫害事件ノ原因ニ關シ報告ノ件

第二一九号

往電第二一八号ニ關シ

本件発生ノ原因ニ就キ取調ヘタル處前電所報兩 Fruits

Packing 会社ハ從来白人ヲ使用シ居リシ處本年ヨリ一ハ被害者福森以下八名他ハ和田以下二五名ノ本邦人ヲ使用シタル為失業シタル付近米人青年等ハ之ヲ憤慨シスル暴挙ニ出テタルモノノ如シ

元來同地方ハ本邦人ニ對スル人氣惡シキ地方ニテ數年前ニモ發砲コソセサリシモ類似ノ暴動アリシ歴史モアリ「ク・クラクス・クラン」ノ處為又ハ今回ノ日米問題ト直接關係アリトハ推定シ難シ

尚當館ヨリハ館員及雇弁護士ヲ現場ニ急派シ将来米国政府ニ対スル交渉ノ基本トナルヘキ調査ヲ目下作製中ナリ同又事件発生地ハ桑港ヨリ一〇〇哩ノ北方ニアリ交通不便

二 カリフオルニアニ於ケル日本人被害事件 二四五 二四六

三二六

ナル為力当地方米国新聞ハ事実ヲ知ラサリシモノノ如ク将又全然故意ニ記事掲載ヲ為ササリシカ不明ナルモ本日初メテ当地「クロニクル」及「エキザミナ」カ本邦ヨリノ新聞電報ヲ掲ケタル上其事実ヲ否定シ居レリ

在米大使ヘ転電シ在米各領事ヘ郵報セリ

二四五 七月二十八日(着) 在サン・フランシスコ大山總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ホップ・ランド日本人迫害事件ニ関シ統報ノ

件

第二三二号

往電第二一八号及第二一九号ニ關シ早速館員ヲシテ現状ヲ臨検セシメタル處事實ハ前電ノ通ニシテK・K・K・又ハ今日ノ日米問題トハ全然關係無ク該暴行者ハ前記ノ両会社ヨリ失業シタルモノガ付近ノ青年ヲ煽動使嗾シタルニ始マリ同地日本人ニ威嚇ヲ加ヘ同地ヨリ退去セシメントシタルモノニテ彼等ハ砲弾シタルモ空中ニ向ツテ為シ偶々逸丸ガ家屋ニ当リタルニ過ギザルガ如シ又同地警察官ハ邦人ニ身体又ハ財産上ノ被害無キ為事件ヲ其儘曖昧ニ付セントスルガ如キ模様ナルモ今後ノ危険ヲ防止スル為充分ニ被害日本

議所宛電報セリ

調査ノ結果「ホップ・ランド」ニ於ケル「ハンボード」ノ排日事件ハ單ニ一地方ニ於ケル普通ノ警察事項ニ過ギズシテ國際問題ヲ惹キ起ス程ノ重大事件ニアラサルコト明白トナレリ針小棒大ノ誤報ニ誤マラレサルコトヲ切望ス大山總領事ノ嚴重ナル警告ヲ諒トシ知事初メ米国官憲ハ邦人保護ノ為適當ナル注意ヲ払ヒ最モ排日傾向ヲ帶ブル英字新聞ト雖モ日本人ニ暴行ヲ加フベカラサル旨ヲ論述シツアリ日本ニ於テ無分別ナル暴行等行ハレサル限り在留民ニハ先ヅ危險ノ惧ナキモノト信ゼラル但日本ニ於テ万一米人ニ対シ暴行等行ハルニ於テハ過激分子ニ強ヒテ日本人迫害ノ口実ヲ与ヘ其結果在留民ノ安全ハ保シ難カルヘキガ尚日本商品ニ対スル「ボイコット」宣伝ノ如キハ全ク之レ無ク日本商品ノ売行ハ平素ト異ナラズ切ニ日本國民ノ自重ヲ望ム此旨公表ヲ請フ

二四七 八月十日(着) 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

日本人殺害事件ノ嫌疑者逮捕ノ件

第一九〇号

人等ヲ警護シ居レリトノ事ナリ又事件発生後被害日本人保護方ニ關シ當館ヨリノ電報ニ對シ右警察官ノ返電ニ依レバ事件後二日間ハ同警察署長自ラ日本人警護ノ為通行自動車ヲ一々誰何シ武器携帶ノ有無ヲ検閲スル等警戒ニ努メタル為其後全ク平穏ニ帰セルモ今後危險アラハ何時ニテモ充分ノ保護ヲ與フベキ事ヲ被害日本人等ニ申聞ケ置ケリトノ事ナリ尚右ノ如キ事件ハ文明國ニハ有リ得ベキ事ニ非ザルモ御承知ノ如ク米国ハ警察力ノ間隙多キ国柄ニテ多數ノ人種ヲ包容シ居ル關係上時々他国ニ見ラレザル不祥事アリ本件ハ不都合至極ノ事ナルモ本邦ニ於テ考ヘラルル如キ重大ナルモノニ非ザル事ヲ充分御了解置キアリタシ

二四六 八月九日(着) 在サン・フランシスコ大山總領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

日本ニテ米人ヘノ暴行等行ナワレザル限り在米邦人ニ危険ナキ旨當地日本人商業會議所ヨリ東京商業會議所宛通報ノ件

第二三九号

往電第二三六号ニ關シ  
当地日本人商業會議所ヨリモ八月六日左ノ通り東京商業會

往電第一五五号ニ關シ(邦人殺害事件)

有力ナル犯人嫌疑者トシテ木本、田辺、岡田ノ三名七日逮捕セラレ収監中ナルカ右ハ何レモ被害者ト關係アル賭博場ノ博徒ナリ  
在米大使ニ転電シ沿岸各領事ニ郵送ス

二四八 九月一日(着) 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

ハリウッド日本人所有土地收回用問題ニ關シロス・アンゼルス市長及ビ市會議長トノ交渉振

リ報告ノ件

第一九三号

往電第一六一号ニ關シ

貴電第三八号御回訓ノ次第モアル處斯ノ如キ狡猾ナル排日手段ヲ市當局カ公認スルニ於テハ今後幾多同様ノ事件發生ノ憂アルヲ以テ本官ハ極力之ヲ防止セン為メ一方本邦人利害關係者ヲシテ市会ニ對シ正規ノ抗弁書ヲ提出セシメ他方市会ニ對シ圧迫ヲ加フル為メ商業會議所ノ後援ヲ求メタル處同會議所幹部会ハ満場一致ヲ以テ強硬ナル抗議ヲ提出スルコトヲ可決シ右決議文提出委員三名ヲ任命シ尚右委員ハ

二 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 二四七 二四八

三二七

一一 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 一四九

三一八

教会連盟汎太平洋協会及基督教青年会等ノ団体ヲモ動カシ  
同様ノ抗議ヲ提出セシメタリ依テ市会ハ本月一日「ヒヤリ  
ング」ヲ開キタルカ一先ツ其決定ヲ延期シ更ニ本月十五日

第二回「ヒヤリング」ニ於テ同地方住民多数ノ請願アル以  
上致方ナシトノ理由ニテ右抗議ヲ却下シタリ然ルニ同地面  
ヲ公園トナスニハ市会ハ更ニ土地收回命令ヲ發シ之ニ基キ  
土地收回用訴訟ヲ裁判所ニ提起スルノ手段ヲ要スルヲ以テ我

方ニ於テハ其際法廷ニ於テ更ニ之ヲ争フ方針ニテ日本人会  
ニ於テ其費用ニ付協議中ナルカ尚當市内他ノ区域ニモ本件

同様ノ排斥運動アルニ鑑ミ本件ハ此種排日手段ノ試金石ナ  
ルヲ以テ本官ハ予メ可成之ヲ行政的ニ解決シ度キ考ヘニテ

領事會議出張中ノ為メ延引ナカラ本月二十八日市長訪問ノ  
上本件處理方ニ付幫助協力ヲ求メタル處市長ハ本件ハ市会

ノ權能ニ属スル故直接市會議長ニ申入ラレ度シトノコトニ  
付其紹介ニ依リ市會議長ト会见本件ノ真相ヲ指摘シ其口実  
及理論ハ別トシテ情誼上市當局ノ正義ノ觀念ニ訴ヘ飽迄之

ヲ中止センコトヲ求メ万一本件カ今後各地ニ於ケル同様排  
日手段ノ先例トモナルニ於テハ日米條約ノ保障スル居住ノ  
自由ヲ却スコトトナリ結局日米間ノ問題トナルヲ避ケ難キ

米、在米（合衆国）領事ヘ転電セリ

一四九 九月九日（着）在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ  
幣原外務大臣宛（電報）

ハリウッド日本人所有土地收回問題ニ対シ力  
リ

第一九七号

往電第一九三号ニ閲シ

加州知事ヨリ本月三日付ヲ以テ本件ハ全然當該地方官憲  
(市當局)ノ權限ニ属シ知事ハ何等之ヲ管理（コントロー

ル）スルヲ得ザル旨回答シ來レリ

大使ヘ転電シ沿岸領事ヘ暗送

~~~~~

一五〇 十月二十一日 在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ  
幣原外務大臣宛

ロス・アンゼルス市ハリウッド日本人所有士  
地收回ニ關シ同市長及ビカリフォルニア州知  
事ト本官トノ往復文書写送付ノ件

付屬書一 九月三十日付若杉領事ヨリロス・アンゼルス  
市長宛書簡写

一 十月三日付ロス・アンゼルス市長秘書ヨリ若  
杉領事宛返簡写

機密公第一九号

（十一月十九日接受）

大正十三年十月二十一日

在ロスアンゼルス

領事 若杉 要（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

当市「ハリウッド」ニ於ケル邦人所有土地ヲ公園設置ノ名  
目ノ下ニ收用セントスル件ニ關シ當市々長及加州知事ニ對  
シ本官ヨリ交渉ノ次第ハ屢次電報セシ通りニ有之州及市當

一一 カリフォルニアニ於ケル日本人被害事件 一四九

Sir:—  
With reference to our conversation some time ago  
regarding the city ordinance of intention to condemn  
for park purposes the residential properties in  
Hollywood (bounded by Bronson and Taramind  
Avenues and Sunset Boulevard and Fountain  
Avenue), owned and occupied by the Japanese, I  
deem it my duty to call your attention to the peculiar  
aspects of this measure to deprive the Japanese of  
their peaceful and lawful residences through such

一一九

11 8=ナクニトウタケルヒト人被制拂生 1150

11110

a procedure as called, "condemnation for park purposes," singling out a small parcel of lots situated in the center of the block, where the Japanese are residing and leaving out the other greater portion of the same block, where the American residents are found.

It would not be difficult for any reasonable persons to see the real intent of this measure, no matter what technical aspects or arguments it may present. The true nature of the case, however, is affirmed by the fact that strong protests were presented to the City Council not only by the Japanese concerned, but by such important American organizations as the Los Angeles Chamber of Commerce, the Church Federation, the Young Men's Christian Association, and the Pan-Pacific Union, in support of the Japanese protest.

So far as I am informed, there are similar movements in other quarters of this city to drive out the

me with your authoritative information about the present status of the measure and to let me know what assistance I may expect from you in order to see that the condemnation of the said property will not be proceeded with and that the entire matter may be disposed of amicably and locally, so that I may be entitled to transmit a report to my Government.

With the assurance of my highest regards, I am,

Your obedient servant,  
K. Wakasugi,  
Consul of Japan.

Honorable George F. Cryer,  
Mayor, City of Los Angeles,  
Los Angeles, California.

(中略)

十四日正午・ハノムスケ松原義助  
Office of the Mayor

City Hall

11 8=ナクニトウタケルヒト人被制拂生 1150

Japanese residents by the same means as resorted to in the case in question, which, it is feared, if not adjusted now amicably and locally, may develop into international complications.

Indeed, in referring this matter to your kind and prompt consideration, I have no other intention than to appeal to the common sense of Justice of your municipal authority and to cement the traditional friendship of our two countries at this particular moment when the feelings of both peoples are somewhat irritated on account of the Japanese Exclusion Law. It is feared, however, that the successful carrying into execution of this Condemnation Plan for park purposes will be viewed with alarm not only by the Japanese residents of this city, but also by their countrymen in Japan, as it would tend to threaten the right of residence of Japanese in this country.

I have the honor, therefore, to ask you to furnish

Los Angeles, California.

October 3, 1924.

Dear Sir:

Mayor Cryer requests that I acknowledge receipt of your letter of recent date in which you set forth your protest against the condemnation for park purposes of certain property in Hollywood owned and occupied by Japanese.

In replying thereto the Mayor desires me to call your attention to the fact that owing to the municipal laws and the manner of legal procedure in the condemnation of property, the Mayor personally has little or nothing to do with this transaction, and in consequence you are applying to the wrong source for relief.

The Mayor is under the impression that the control of this situation is largely in the hands of abutting property owners, and the city authorities are little more than agents for the owners of the abutting properties. By that he means that the city

11111

|| カリコラニアニ於ケル日本人被害事件 ||| O

officials probably have no discretion in the matter, and are called upon to carry out the provisions of the ordinance or laws touching the subject.

The Mayor deprecates any action of any kind that would in the least disturb the friendly relations

that have existed between the city administration of the City of Los Angeles and the Japanese Government and its local representatives. Further, he requests that I extend to you the assurances of his personal regard and best wishes.

Yours sincerely,  
(Signed) H. H. Kinney  
Secretary to the Mayor.

Honorable K. Wakasugi,  
Consul of Japan,  
613 International Bank Building,  
Los Angeles, California.

謹註 若杉領事・カリコラニア州知事間往復書簡(省略)

(参考)

有ノ土地ノハニ閑スル条例ヲ再可決致候

想フニ市当局ハ斯クノ如ク茲再日ヲ費シ其ノ間ニ於テ之ヲ有耶無邪ニ葬リ度キ魂胆ナルカ如キモ万一本会ニ於テ該收用実行ノ急起訴スル場合ニハ本邦人側ニ於テモ裁判上之ト争フ心算ニテ米国人弁護士ニモ抗弁方依頼シアリ又其資金

ヲモ準備シ居ル次第ニ有之候

本件今後ノ發展ニ閑シテハ追テ申進ヘキモ不取敢今日マテノ経過此段報告申進候 敬具

本信写送付先 在米大使・沿岸各総領事、領事

大正十四年一月五日付在ロス・アンゼルス若杉領事ヨリ幣原外務大臣宛機密公第七号  
機密公第七号  
大正十四年一月五日  
(八月八日接受)

在ロスアンゼルス  
領事 若杉 要(臣)

外務大臣男爵 幣原 嘉重郎殿  
当市「ハリー・ウッド」邦人所有土地收回

|| 関スル件

本件ニ閑シ客年往電一六一號一九三三號一九七號及同年十月二十一日付機密第一九號ヲ以テ申進置候處右土地收回条例ハニカ月内ニ裁判上ノ手続ヲ取ラサル場合ニハ其ノ効力消滅スルコトナリ居リ本年一月十五日満期失効セルヲ以テ市会ハ右收回用カ邦人ノ所有シ居ル土地ノミヲ目的トシ全然排日ノ目的ニ出テ居ル事実余リニ見エ透キ諸方面ヨリノ圧迫ニ鑑ム該收回用ノ範囲ヲ拡張シテ米国人ノ居住シ居ル土地ヲモ包含セシメ真個ノ公園ト為シ露骨ナル排日ノ外見ヲ幾分ナリトモ緩和セント企テタルモ米国人等ノ反対ニ遭ヒ其ノ目的ヲ達セス結局更ニ一月二十四日從前ト同様日本人所